

江東未来会議
第2分科会（産業・生活分野）
第6回 議事概要

日時：平成20年1月28日（月）19:00～21:00

場所：江東区文化センター2階 旧区政PRコーナー

参加人数：22人

1．開会

2．事務局からの連絡事項

事務局（コンサルタント）より、以下の資料について説明を行った。

- ・「江東未来会議発表会の実施について」
- ・「江東未来会議 参加者感想シートの提出について」

深田コーディネーターより、発表会に関連して以下の追加説明を行った。

- ・発表者を各グループで次回第7回までに選んでいただきたい。
- ・発表者は次回分科会と、発表会当日両方必ず出席できる方をお願いしたい。
- ・3つの各グループから1名、計3名が壇上で発表するとすれば、分科会としての発表時間は15分のため、1グループ5分程度の発表となる。
- ・発表用資料は、提言書の概要をパワーポイントで作成予定である。

事務局（コンサルタント）より、以下の資料について説明を行った。

- ・江東未来会議提言書（産業・生活分野部分）
- ・江東未来会議提言書（冒頭部分・参考資料）

深田コーディネーターより、第6回会議、第7回会議の検討の進め方について、以下の説明を行った。

- ・第6回会議では「現状および問題認識」部分と「江東区が目指すべき将来像」部分をできれば確定し、時間があれば「将来像の実現に向けた取り組みの方向性と具体的事業のアイデア」部分の検討を自由に行ってほしい。
- ・第7回会議では、前半を「将来像の実現に向けた取り組みの方向性と具体的事業のアイデア」部分の議論・確定の時間とし、後半は発表者と発表内容の検討、決定をしてもらう予定である。

3. ワークショップ

(1) グループ別作業・討議

前回に引き続き、「産業・消費生活グループ」「コミュニティグループ」「文化・観光グループ」の3つのグループに分かれ、分野別提言書(案)のうち、「現状および問題認識」「江東区が目指すべき将来像」を中心に内容確認を行い、修正点や新たに追加すべき内容について検討を行った。

(検討結果は、該当ページ(A3サイズ)を貼付した模造紙に直接書き込み、後日、事務局にて提言書(案)に反映を行った)

(2) 発表

文化・観光グループ

- ・「現状および問題認識」部分については、文化に関する記述を先にして、観光に関する記述をその後にした。
- ・「江東区が目指すべき将来像」は、優先順位の高い順に「江東区民が伝統ある歴史文化に誇りを持てるまち」「観光立区 世界に誇ることができる江戸情緒あふれる街」「にぎわいのある水彩都市江東」とした。

コミュニティグループ

- ・「現状および問題認識」のうち、「大規模災害が発生した時には大量の帰宅困難者が発生する可能性があります。そのような時は、近隣マンションの空きスペース(1階エントランスホールや廊下部分など)を提供する～」という記述は、警察から、第三者を簡単にマンションに入れるのは危ないとの指摘があったことから削除したい。普段から顔の見える関係のコミュニティが重要である点を強調したい。
- ・具体的な提案であるプレーパークに関する記述は、「具体的事業のアイデア」の方に掲載することとした。また、区内には、大小様々な公園があるが、十分に活用されていないことから、「公園が活用されていません」という新たな項目を追加した。
- ・「江東区が目指すべき将来像」については様々な意見が出たが、コミュニティ、コミュニケーションに関して気軽に話し合えること、区民がいろいろなことを考えるために区がバックアップしてほしいことから、「地域と行政が両輪となってコミュニティをつくる」という将来像を掲げた。
- ・区民の集合体は町会・自治会であるが、それらを支える行政との間でお互いの情報発信と交流を深め、両者でコミュニティをつくっていききたいという趣旨もある。

産業・消費生活グループ

- ・「現状および問題認識」のうち、「強み」に関して、陸海空は強い言葉であるとともに、「空」が情報のたとえであることが伝わりにくいので、「モノと情報の発信拠点が揃っていることです」に変更するかどうかで意見が分かれています。本文中には陸海空の表現は残してよいと考えている。
- ・ニット産業の記述は、ニット産業のシェアは確かに高いが、ニット産業の状況は非常に厳しいので、「強み」の文章からは削除したい。
- ・人口増加を「強み」として強調するため、レベルに「人口増の傾向にあり」という語句を加えた。また、「産学連携」に関して、行政も積極的に参加してほしいので「産学公連携」とした。
- ・「弱み」に関しては、国際競争力を持つ産業が少ないではなく、江東区らしい「江東区の顔となる産業」が少なくなっているという表現に変更した。大田区との比較も大田区を目指しているとの誤解を受けるので削除した。
- ・商店街に関する記述は「弱み」に特化するため、「商店街では、店主の高齢化が進行し、消費者ニーズの変化への対応が遅れています」とし、本文も合わせて修正した。また、さざんかカードに関する記述は、「具体的事業のアイデア」の方に掲載することとした。
- ・「脅威」に関しては、消費の区外への流出と大型ショッピングセンターの進出が混ざっているため、それぞれ本文を2つに書き分けた。
- ・「江東区が目指すべき将来像」については、十分な議論を行っていないが、地域資源をITで結びつけて、江東区の顔となる産業を育成していくこと、区民・区内企業・行政によって、区産区消、つまり区内企業が区内でお金を消費することを奨励することで、区の成長を持続可能なものにしていくこと、商店街の衰退に関して、商店街を買い物するだけの場所という発想を捨て、地域社会における地域コミュニティの担い手としての役割を評価し、商店街が従来、果たしてきた役割が行政を巻き込んで機能させること、といった内容を盛り込みたい。

【質 疑】

参加者

- ・「陸海空」の表現は、陸軍・海軍・空軍といった軍隊をイメージする上に、言葉遊びの感もあるので、「レベル」の表現からは除いた方がよい。

参加者（産業・消費生活グループ）

- ・「モノと情報の発信拠点が揃っていることです」に変更することとする。

参加者

- ・本来、生活とコミュニティが一体であるべきで、産業と消費生活が一緒になっているのは違和感がある。産業振興と生活は別ではないか。

参加者

- ・これまで、産業と消費生活を一体として議論してきた経緯がある。

参加者

- ・「機会」の記述に関して、食の安全に対する関心が高まっている中、江東区として築地市場の移転を産業振興の起爆剤としてのみ表現することはどうか。

深田コーディネーター

- ・本日、いただいたご意見は引き続き次回議論していきたい。
- ・次回は、2月20日（水）19～21時で開催予定である。

4．その他

事務局（区）

- ・江東未来会議は、提言書の発表会で一区切りとなる。その後は、区長の諮問機関として昨年12月に制定した審議会条例に基づく基本構想審議会で検討を進める予定である。
- ・基本構想審議会は、区議会議員（8人以内）、学識経験者（5人以内）、区民および区内各種団体（13人以内）、関係行政機関（4人以内）の計30人以内の委員で構成される。
- ・前回の基本構想策定時は、公募区民から3名の委員を選出したが、今回は江東未来会議で半年間の議論を重ねた経験を審議会の議論に活かしてもらいたいことから、江東未来会議の各分科会から各1名計5名の方を選出させていただきたい。
- ・基本構想審議会は平成20年3月から12月まで月1～2回、平日昼間に開催する予定である。区民および区内各種団体の委員枠は区内在住の方に限定している。
- ・本来は江東未来会議参加者から立候補を募るのがよいが、男女のバランスなどを考慮する必要があるため、人選は事務局に任せてもらいたいと考えている。

（異議なし）

（以上）